

# 問題解決の手順と方法

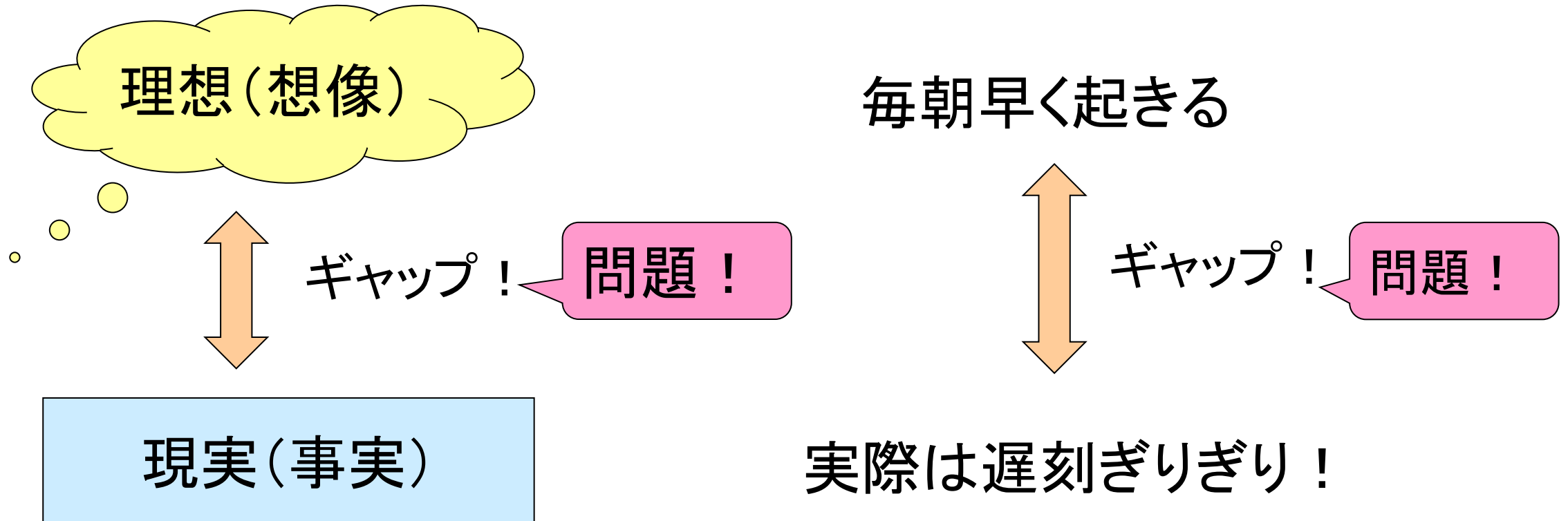
情報 I 第4回授業

02情報社会の問題解決

対応データ 23exp04.xlsx

# 「問題」とは(教科書p22～)

- 「問題」とは、理想と現実との「ギャップ」



# 演習1

課題：ワークシート「演習1」に、自分の簡単な「理想」と「現実」をそれぞれ入れてみよう。

例えば 理想：朝早く起きる

現実：遅刻ギリギリに起きる

単純なことで結構です。できるだけシンプルに。

# 「問題」を「解決」する

## 「問題解決」

- ・「理想」と「現実」のギャップを埋めること



「現実」が「理想」に発展する「良い問題解決」を！

# 問題の明確化

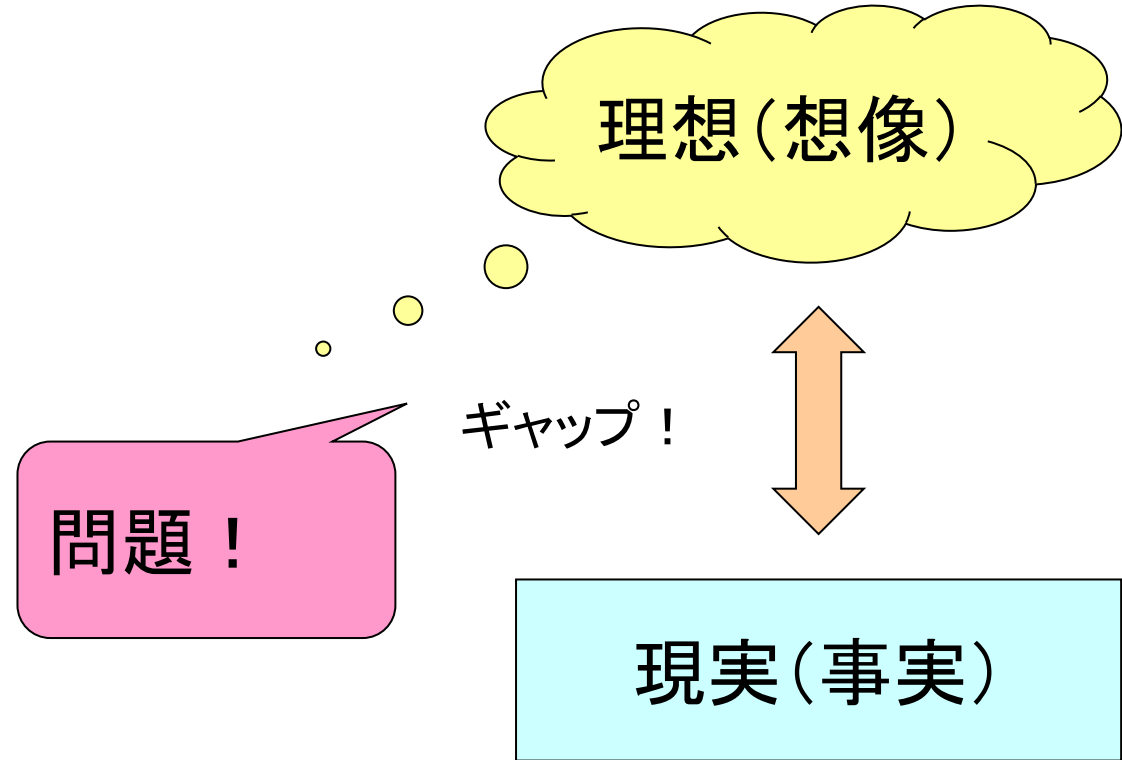
- 「問題」とは理想と現実とのギャップ。



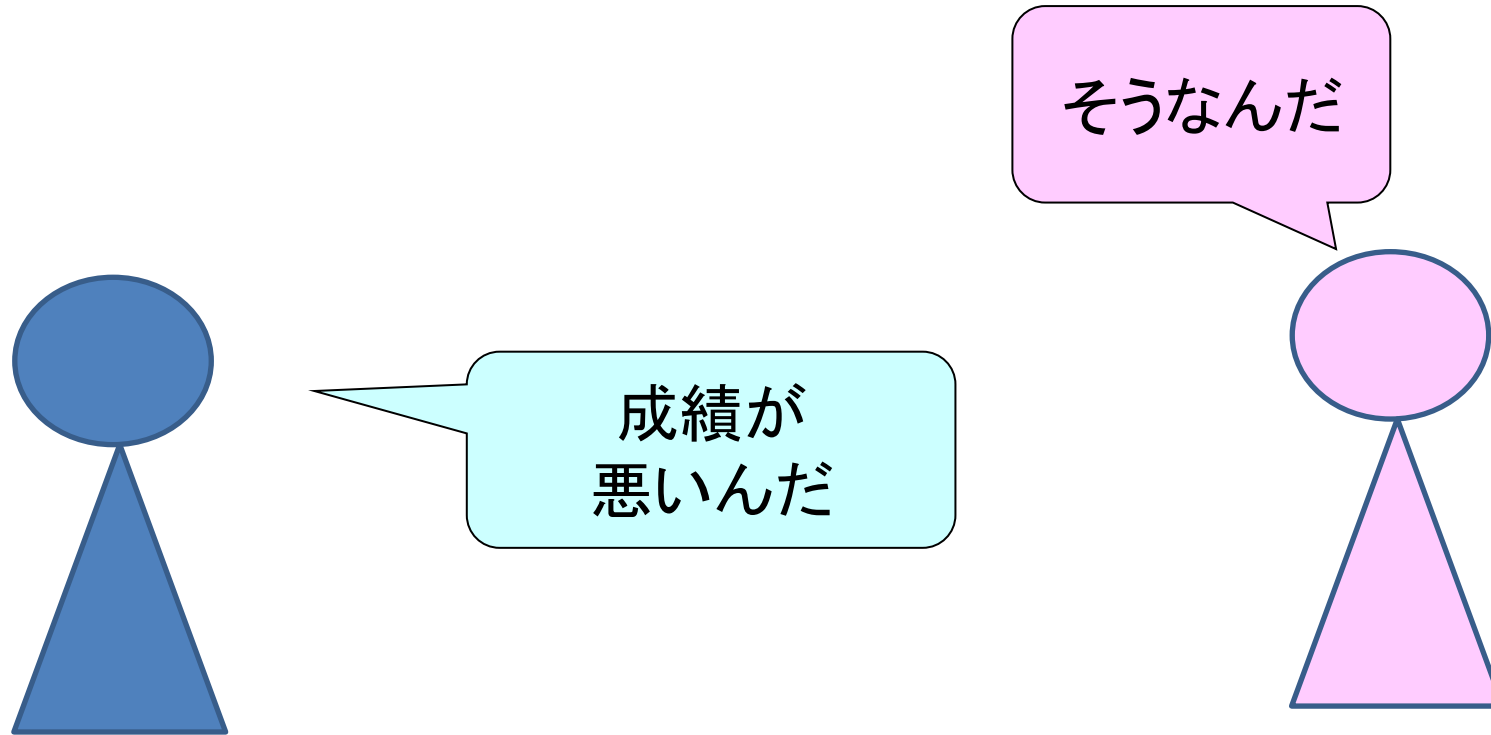
- 「問題の明確化」とは理想と現実のギャップを明確化すること。



まずは、「理想」と「現実」を明確化しよう！！

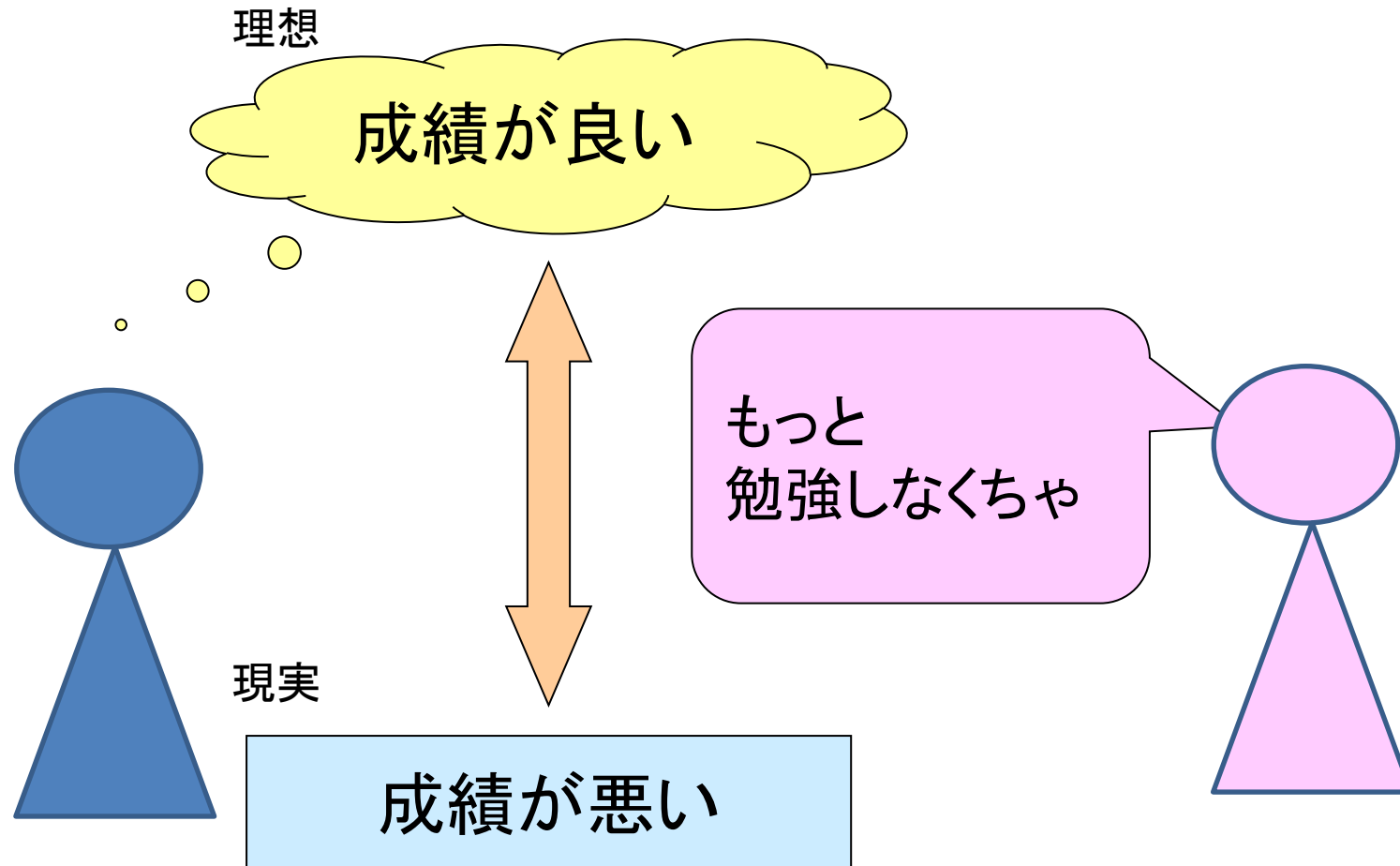


# 例えば



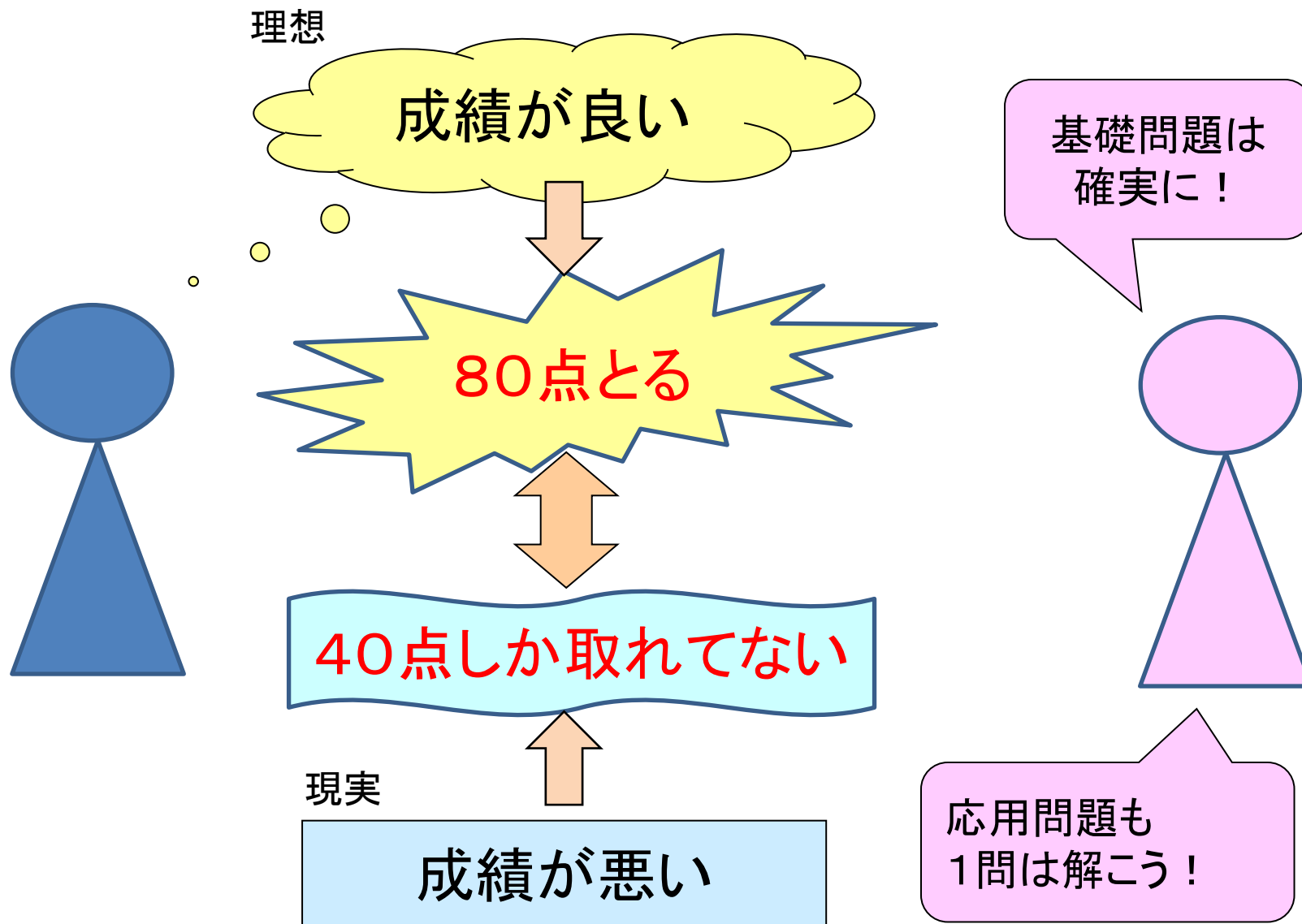
「理想」と「現実」を明確化しないと、「そうなんだ」としか言えない  
「そのままでもいいや」と思ったら、「問題」にすらならない

# 例えば



「理想」と「現実」があるので、「問題」と言えるが、  
解決案としては、どうしても抽象的なものしか……

# 「理想」と「現実」が具体的であるほど 解決策も具体的に考えられる





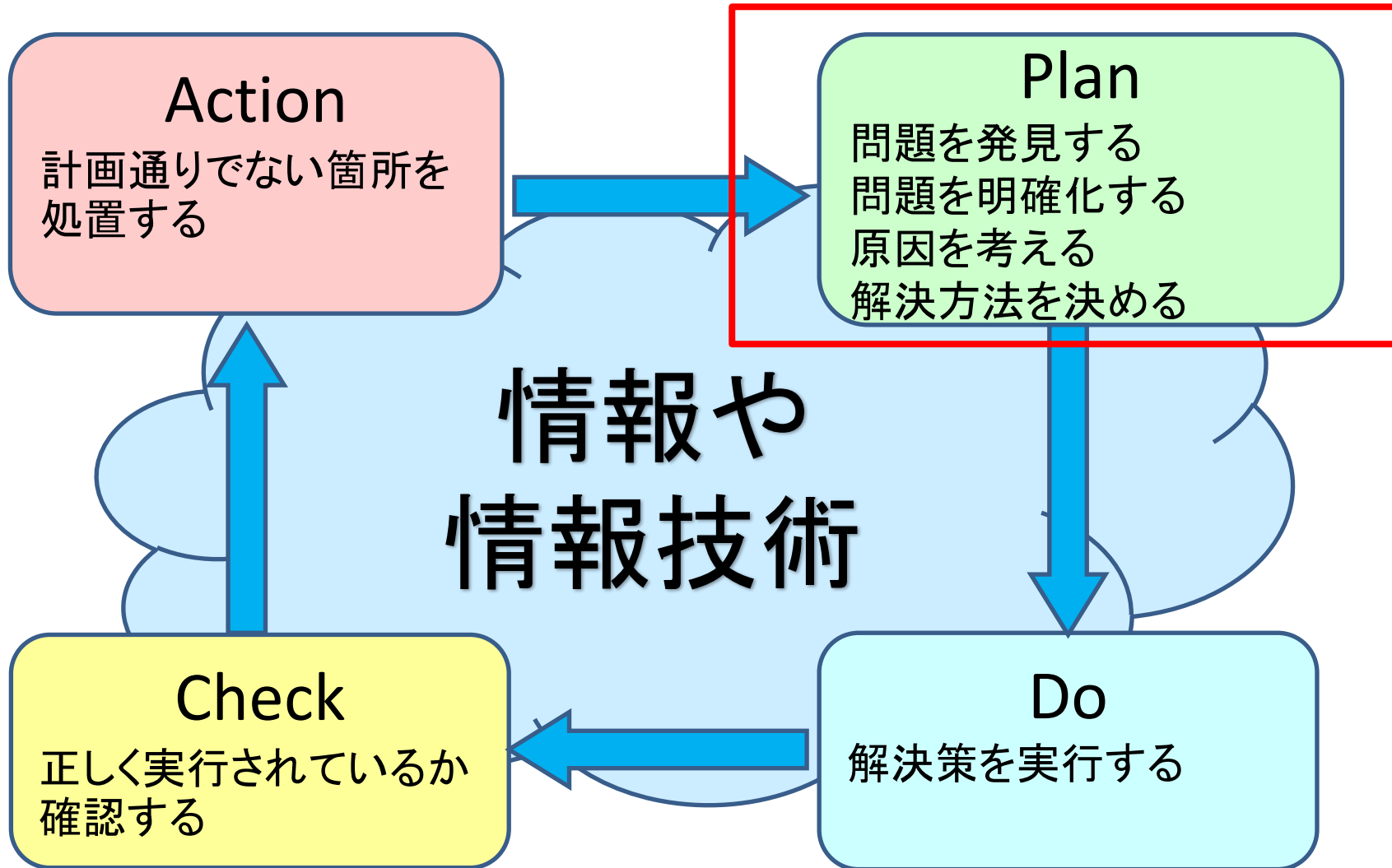
## 演習2

ワークシート「演習2」に、

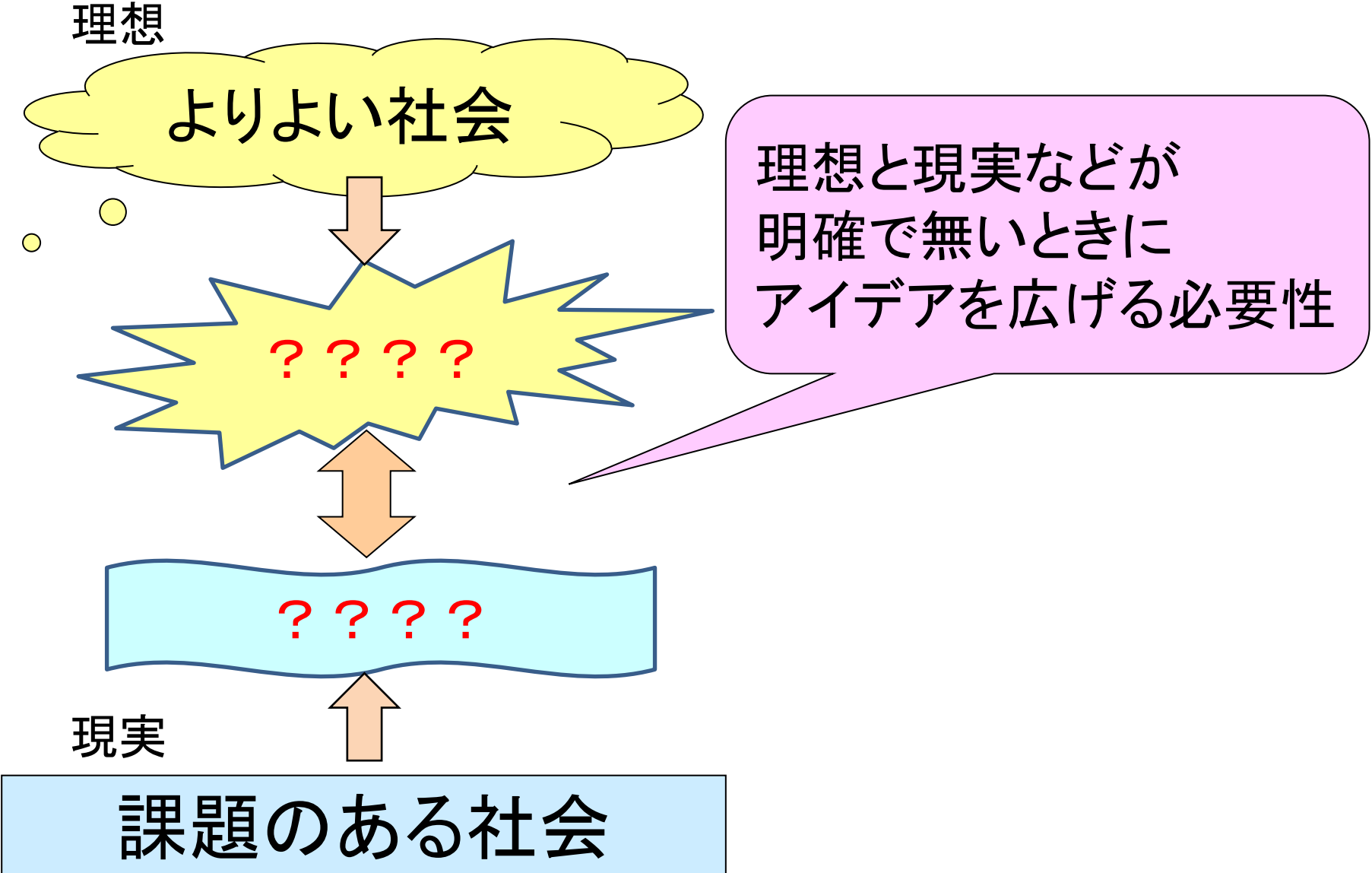
- 演習1で書いた「理想」「現実」を書く
- 「理想」に対して、具体的な「理想」を  
「現実」に対して、具体的な「現実」を、  
それぞれ考えて書く。

※もしも、演習1の段階で「具体的な」になっていたならば、演習1の内容を修正し大まかな理想に書き換えて、演習2の内容で具体的に記入してください。

# より良い問題解決のために(P.22)



# 問題発見・問題の明確化に向けて



# 問題発見と整理について(予習)

- 1 幅広くアイデアを広げ、まとめる(広げる)
  - フレームワーク、ブレインストーミング
  - アイデアカード
- 2 原因をより深く考える(なぜなぜ)
  - ロジックツリー、連関図、特性要因図
  - IE図
- 3 解決策をより具体的にしていく(どうすれば)
  - ロジックツリー、特性要因図
  - IE図

# アイデアを広げるための方法

## トレーニング① フレームワーク

あえて枠組みなどの「切り口」を考え、その中で思考する。

例1)「封筒」の使い道を考える。(本来的でなくても良い)

- 本来的な使い方は・・・
  - 郵便用、書類を保護(汚さない)、一つにまとめ整理する、・・・
- 大きさ、形に着目すると・・・
  - 鍋敷として、定規として、縁をカッターとして、・・・
- 材質に注目すると・・・
  - ノート代わりに、小さく切ってメモに、折り紙、ティッシュ代わりに、・・・
- 複数集めて・・・
  - 枕として、掛け布団、・・・

などなど

## 練習0(2分)

「鉛筆」の使い道をできるだけ具体的に考えよう  
(例: 字を書く)

ワークシートにできるだけたくさん記入する

# 本日のまとめ

- 「問題」とは・・・
  - 理想と現実とのギャップ
- 人によって、「問題」となったりならなかったりする場合がある
- 「理想」と「現実」を具体化することが大切
- 問題解決の代表的な流れ・・・
  - PDCAサイクル、特に大切なのは・・・
  - 「Plan」の段階をしっかりと！
- アイデア（見方・考え方）を広げる必要性